

普及活動情勢報告（令和4年10月分）

中央東農業振興センター農業改良普及課

消費宣伝活動に向けたレシピ動画撮影 ～女性農業者勉強会の活動～



動画撮影の様子

10月6日、J A高知県土長地区南国南部集出荷場の調理室にて、南国市の女性農業者4名が参加し、消費宣伝活動に向けたシシトウ、ピーマンのレシピ動画を撮影しました。

女性農業者は、昨年度からレシピ動画を作成し配信しています。今回は、同地区の園芸女性部のレシピを動画化することになり、農業改良普及課は、J A女性部事務局と連携し、女性部との事前実習や当日の撮影に向け支援しました。

女性農業者は、女性部から聞き取ったレシピのポイントや消費者に伝えたい内容などを確認しながら、撮影に臨みました。

今後も女性農業者が地域の担い手として活躍の場を広げていけるよう、支援していきます。

ピーマン養液栽培がはじまりました！



栽培指導を行う普及指導員

10月6日、株式会社イチネン高知日高村農園南国農場（以下、（株）イチネン）にて、培養液のEC管理や初期の病害虫管理について栽培指導を行いました。（株）イチネンは、今園芸年度から南国市でピーマン養液栽培の営農を開始しています。

農業改良普及課は関係機関に呼びかけ、参加者で生育状況等を確認しながら栽培管理や病害虫対策について情報共有と指導を定期的に行っています。

（株）イチネンの社員からは「今後の培養液のEC値はこれでいいだろうか」、「うどんこ病対策について教えてほしい」などの質問や要望が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と協力して、栽培技術習得に向けて支援していきます。

ナスの生育初期の管理を見直そう！



誘引方法を教える
ベテラン農家

9月26日、J A高知県香美地区なす部会が生育初期の栽培管理を確認するため現地検討会を開催し、生産者13名が参加しました。

J Aから、生育初期の管理方法と病害虫の防除について説明があった後、農業改良普及課からはナスフザリウム立枯病の防除対策と熱中症対策について説明しました。

現地ほ場では、新規就農者がベテラン生産者に今後の栽培管理について熱心に質問している姿が見られました。

農業改良普及課は、引き続き関係機関と連携し、時期ごとの栽培管理や病害虫防除に関して支援します。

土佐甘とう部会提案型の担い手確保に向けて ～担い手確保の提案書を作るぞ！～



提案書（案）を説明する
普及指導員

9月28日、J A高知県南国営農経済センターにて、土長地区土佐甘とう部会が担い手確保に向けた協議を開催し、生産者8名が参加しました。

農業改良普及課は、担い手確保のための啓発チラシとして、土佐甘とうの紹介と栽培及び経営面における特徴をまとめた部会提案書（案）を作成し、部会員に説明しました。

参加者からは「収入面のメリットや、労力面で他の果菜類と異なる点をもっと強調してはどうか」など、積極的な意見交換が行われました。

農業改良普及課は、土佐甘とう部会の担い手の確保・育成に向けて、引き続き関係機関と連携し支援を行います。

高温期の生産安定に向けて ～やっこねぎ部会青年部～



実証試験の内容や手順を
確認する生産者

9月29日、J A高知県香美地区やっこねぎ部会青年部10名とJ A営農指導員が、種子発芽試験を行いました。

農業改良普及課は、昨年度からJ Aと連携し、小ネギにおける高温期の生産安定技術の実証に取り組んでいます。試験では、高温期の発芽や生育を早めるため、播種前の種子に対して3種類の水温で吸水処理し、青年部が管理するハウスに播種しました。

青年部会員からは「品種が変わっても昨年と同じ効果があるだろうか」、「昨年の実証結果とあわせて、発芽や生育への効果を確認したい」といった声がありました。

農業改良普及課は、今後調査結果を部会と共有し、引き続き高温期における小ネギの生産安定に向けて支援します。

2年ぶりの開催！～J A香美地区生姜生産部会 栽培講習会～



栽培講習会の様子

9月30日、J A香美地区生姜生産部会会員を対象とした栽培講習会が開催され、生産者及び関係者約30名が参加しました。

講習会では、高知県環境農業推進課から、生姜の病害虫や害虫発生要因についての講演が行われました。

農業改良普及課からは、気象状況及び今作の病害虫の発生状況について報告しました。

生産者からは「根茎腐敗病の菌は何年くらい土壌に残る？」など次々と質問があがり、生姜の病害虫に対する生産者の関心の高さがうかがえました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、生姜の生産安定に向けて支援していきます。

草姿を整えて、冬に備えよう！～メロン現地検討会を開催～



栽培管理について意見交換
する参加者

10月5日、J A高知県香美地区園芸部メロン部会が現地検討会を開催し、メロン部会員、種苗メーカー、J A担当者、農業改良普及課メロン担当者の計14名が参加しました。

品種や生育状況に応じたかん水・温度等の栽培管理について、種苗メーカーから助言を受けながら意見交換を行いました。

農業改良普及課からは、気象データとともに定点調査を実施している野外害虫の発生状況を報告し、今後の発生予測に基づく注意喚起を行いました。

農業改良普及課では、今後もメロンの生産性向上に向けた組織活動を支援していきます。